

令和5年10月18日に球磨村神瀬地区でクスノキ移植工事を実施！

- 「球磨川水系緊急治水対策プロジェクト」に基づく治水対策事業について、球磨村神瀬地区では令和5年2月から宅地かさ上げ工事に着手。
- 今回、宅地かさ上げ工事にあわせて地域のシンボルツリーであるクスノキの移植工事実施。
- 移植は、地域の方々と施工業者、八代河川国道事務所の職員で実施。

<移植場所>



<集合写真撮影>



<移植前>



<移植後>



<当日の様子>

①クレーンによる吊り込み



②トレーラーによる運搬



③地域住民による土入れ作業状況



令和5年10月30日に九州初となる「流域治水×SDGs」のPR看板を設置 ～相良村から、SDGsに貢献する取組をスタート～

- 球磨川流域において、国、県、流域市町村が一体となって推進している「緑の流域治水」は、国際社会共通の開発目標であるSDGsに貢献する事業。
- 相良村（柳瀬地区遊水地）を皮切りに「緑の流域治水×SDGs」の取り組みを広く周知、普及啓発するため、PR標識の除幕式を開催。

SDGs 標識除幕式

◇主催：熊本県、相良村、八代河川国道事務所

◇日時：令和5年10月30日14時～

◇場所：相良村役場敷地内（庁舎南側出入口前付近）

◇次第

・挨拶 吉松 相良村長、宗 八代河川国道事務所長

除幕 吉松 相良村長、黒木 相良村議会議長、梅川 県南広域本部球磨地域振興局長、
宗 八代河川国道事務所長

記念撮影 緒方 相良村教育長、斎藤 川辺川ダム砂防事務所長＋上記（除幕者）



吉松 相良村長挨拶



球磨川・川辺川 緑の流域治水×SDGs
相良村と国土交通省が地域と連携して整備する柳瀬遊水地(仮称)は、災害に強いまちづくりとSDGsに貢献します!

柳瀬遊水地 完成イメージ

○大雨の時にはまちを洪水から守り、強靱で持続可能なまちづくりのために、柳瀬遊水地を整備します。
○柳瀬遊水地は、洪水の時には河川の水を一時的に貯留させ、水位低減効果を発揮するとともに、生物の生息・生育空間となり、日常は、憩いの場や環境学習の場として、さらには観光利用等が期待されています。
○柳瀬遊水地の整備及び利活用にあたっては、地域や相良村、国土交通省(河川管理者)等が連携して、進めていくこととしています。

流域関係者によるパートナーシップの連携強化

17 気候変動に由来する水災害の被害軽減
1 気候変動に由来する水災害の被害軽減
2 水災害による農作物被害の軽減
3 水質安全による健康被害の軽減
4 水質安全による健康被害の軽減
5 治水現場における女性や若手技術者の活躍促進
6 安全な水環境の維持・保全
7 電力発電等の再生可能エネルギーの活用
8 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
9 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
10 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
11 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
12 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
13 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
14 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
15 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
16 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
17 球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進

防災・環境教育の実施
河川に生息・生育する生物たちや河川環境等についての環境学習を行います。

球磨川・川辺川の魅力を感知する利活用の推進
川の魅力を感知しながら活動や交流ができる多目的広場などの利活用を推進します。

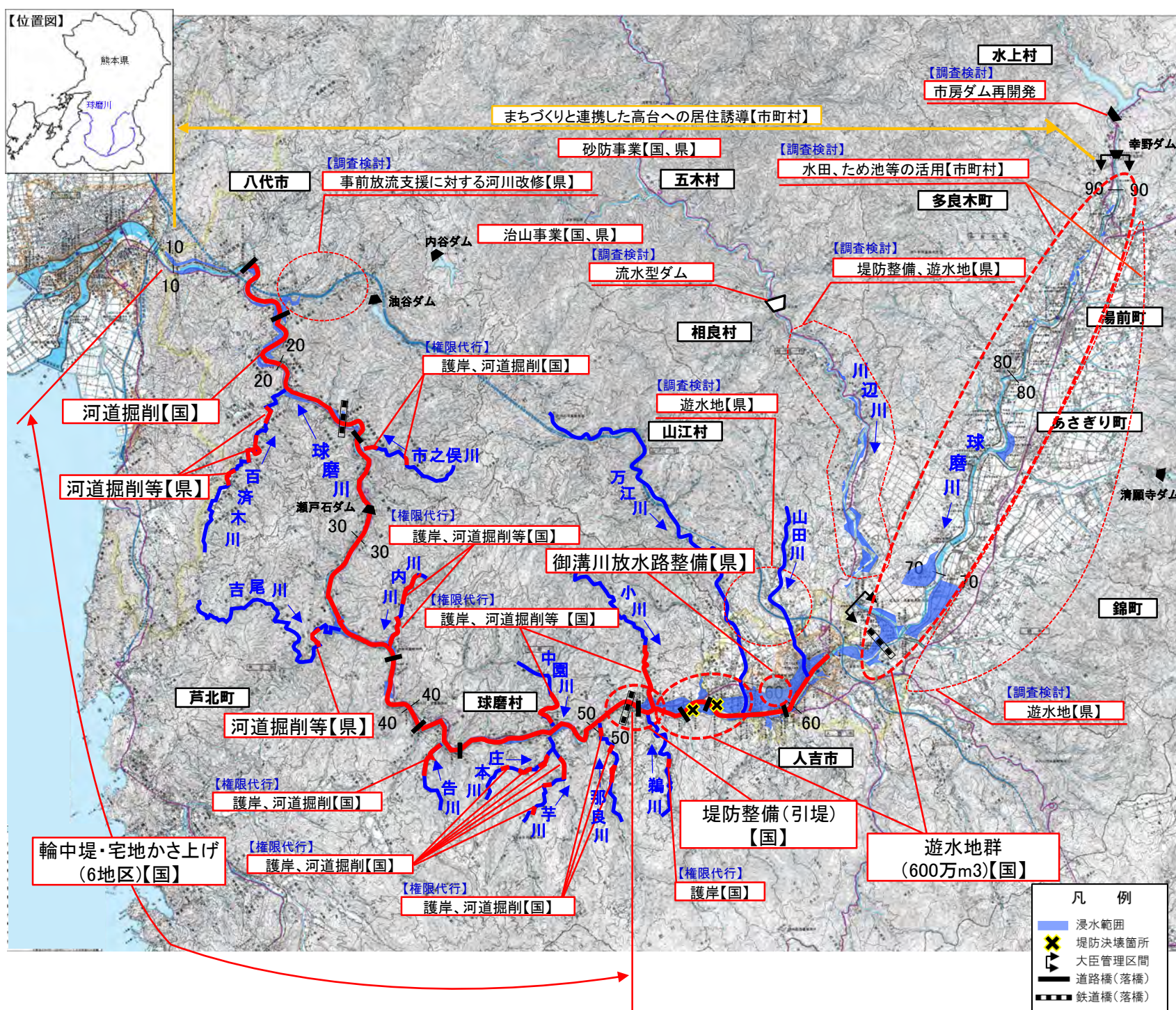
流域関係者によるパートナーシップの連携強化
柳瀬遊水地の整備にあたっては、地域住民のみなさまとの意見交換を兼ね、合賛形成を図ります。また、協働による活用や維持管理を検討します。

流域の生物多様性と生態系の保全
川辺川は、水質が良好に保たれ、アユやガブゼなどが生息しており豊かな自然環境を有しています。柳瀬遊水地において生物の生息・生育空間の保全・創出を図るとともに、周辺の自然環境とのネットワークの形成を図ります。

「緑の流域治水 × SDGs」 PR 標識除幕式
～相良村から、SDGsに貢献する取組をスタート～

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【令和5年10月末時点】

○ 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。 ※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む



【ハード対策の進捗状況】 令和5年10月末時点

- ①河道掘削
令和2年7月豪雨により堆積した土砂量（推定）約125万m³については、令和4年1月末に掘削完了
更に令和5年10月末までに約96万m³を掘削、引き続き推進を図る
- ②輪中堤・宅地かさ上げ（6地区）
地元協議中、測量実施中、地質調査実施中、用地調査実施中
球磨村神瀬地区でかさ上げに係る先行盛土を実施(R4.10.15)
球磨村神瀬地区で宅地嵩上げ事業着工式を開催(R5.2.19)
芦北町で宅地嵩上げ事業着工式を開催(R5.8.26)
八代市坂本町で宅地嵩上げ・輪中堤事業着工式を開催(R5.9.10)
- ③引堤（延長約600m）
地元協議中、地質調査実施中、用地調査実施中
球磨村渡地区で引堤事業着工式を開催(R5.9.10)
- ④遊水地（調節容量約600万m³）
地元協議中、測量実施中、地質調査実施中、用地調査実施中
相良村柳瀬地区で遊水地事業着工式(R5.8.26)



最近の動き

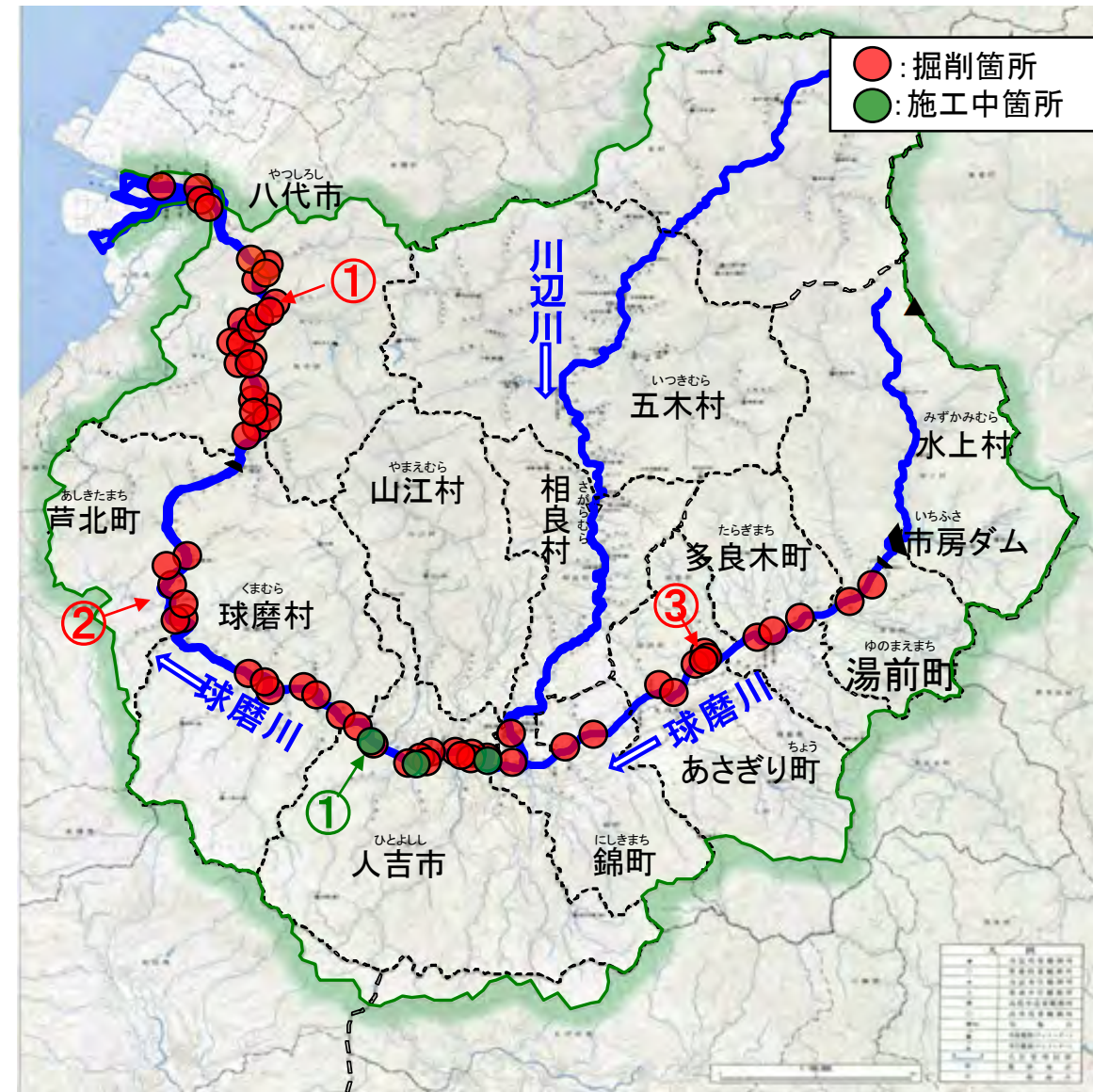
クスノキ移植工事（10月18日）
【球磨村神瀬地区】

SDGs標識除幕式（10月30日）
【相良村】



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜河道掘削＞

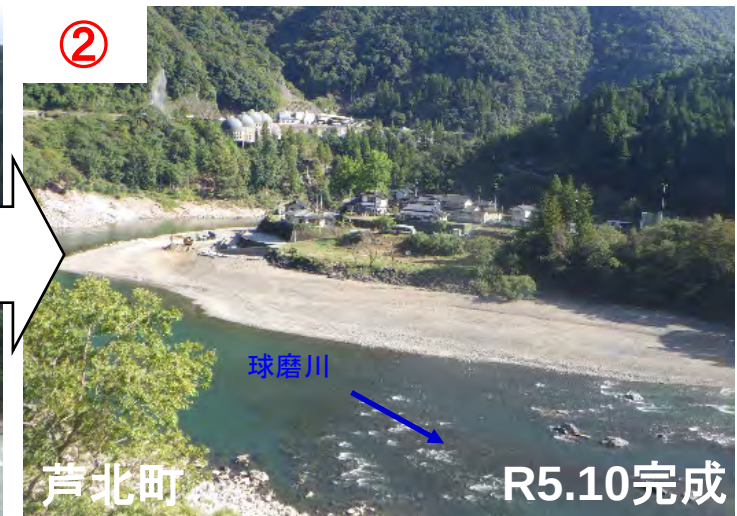
- 球磨川河道内の掘削を行っており、令和5年10月末現在約221万m³を撤去。
- 引き続き、河道掘削を推進していく。



【施工前状況】



【施工後完了状況】



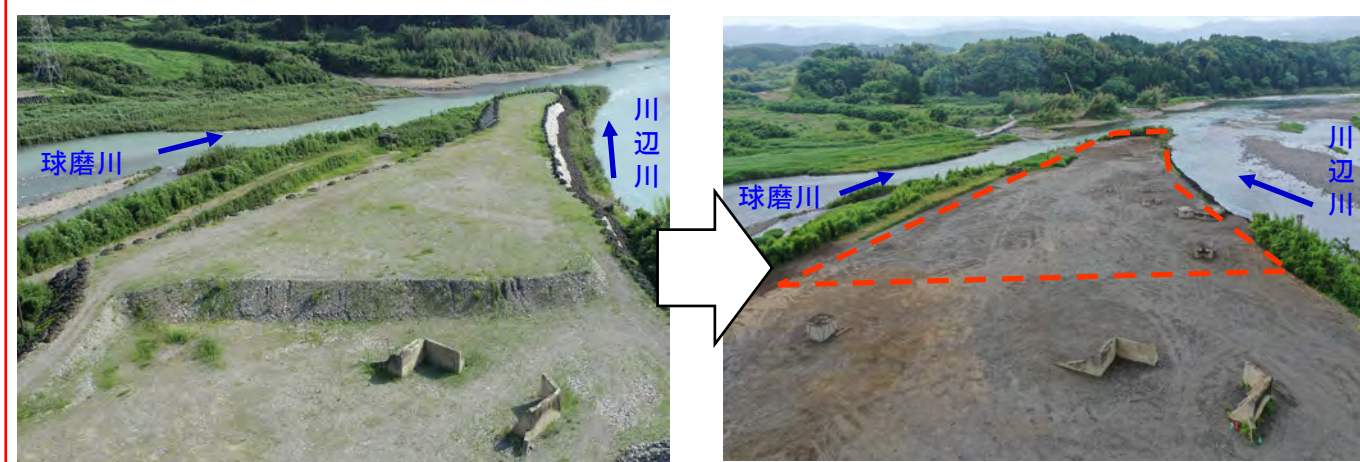
【施工中状況】



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜掘削土砂の有効活用＞

- 球磨川で掘削した土砂について、築堤材料のほか、宅地かさ上げや自治体と連携した観光・生活基盤等まちづくりへの活用も図るなど、地域の復旧・復興に寄与する河川事業を展開していく。
- 活用例として、ふるい分けし球磨村神瀬地区における宅地かさ上げの先行盛土に活用した。

仮置き土砂搬出状況



ふるい分け状況



先行盛土作成状況

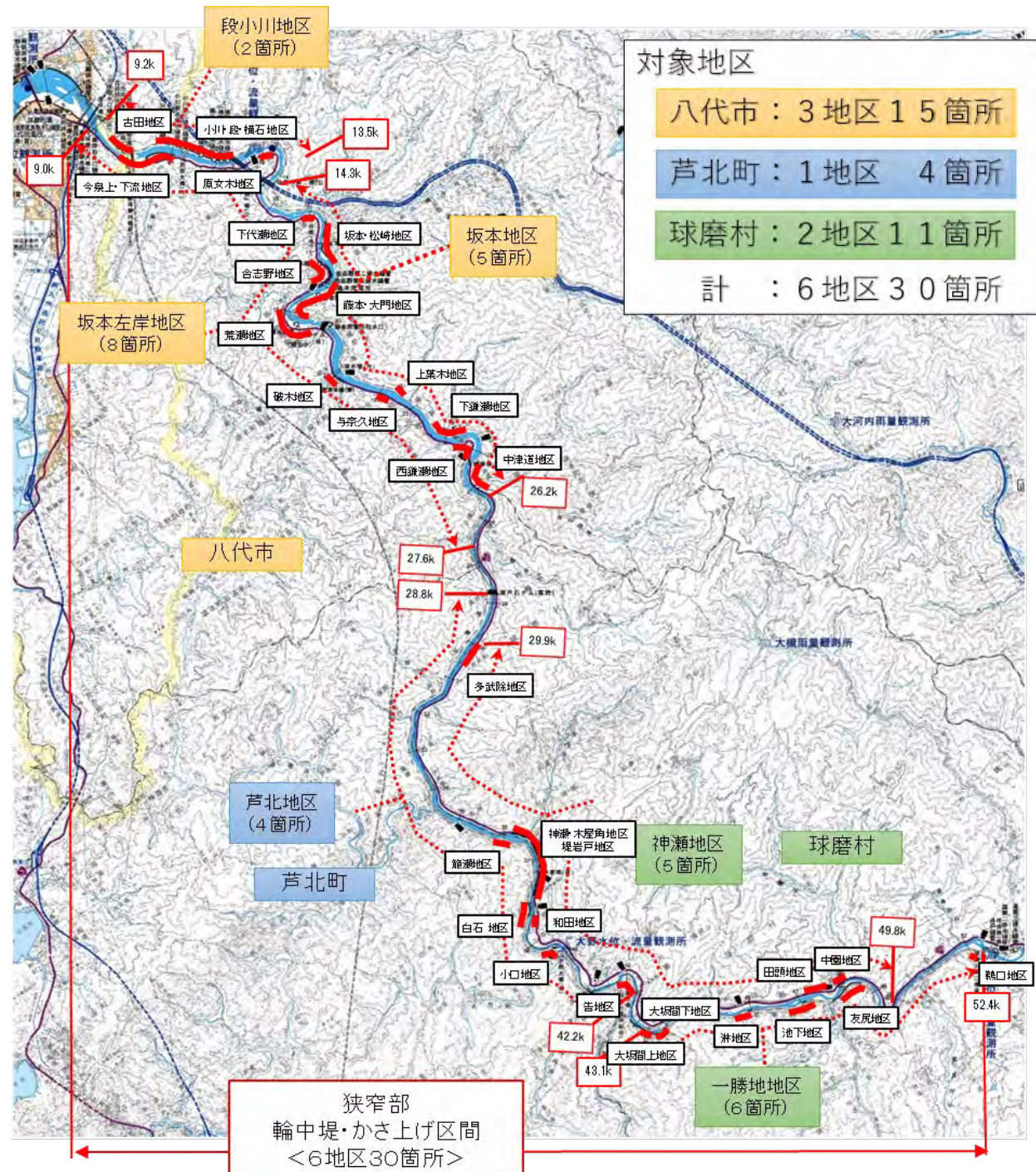


先行盛土完成



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜輪中堤・宅地かさ上げ＞

- 輪中堤・宅地かさ上げについて、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会等を令和3年3月から順次開催（3市町村 計184回開催 ※10月末現在）。
- 事業説明会にて施工計画やスケジュール、宅地かさ上げ事業に係る補償について説明を実施。
- 令和5年2月より、球磨村神瀬地区において宅地のかさ上げ工事を実施中。
- 令和5年8月より、芦北町において宅地のかさ上げ工事に着手。
- 令和5年9月より、八代市坂本町において、宅地かさ上げ工事に着手。



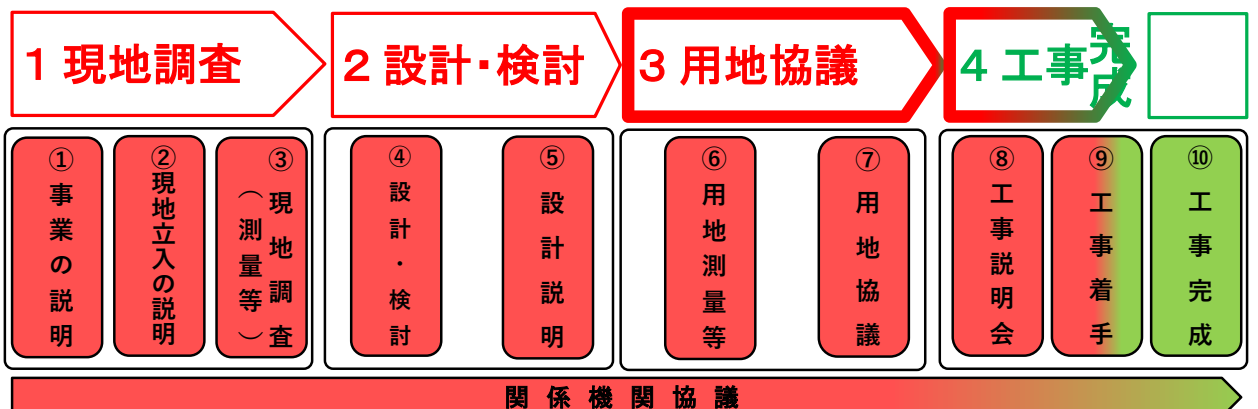
嵩上げ工事の状況（R5.10.23）
【球磨村神瀬地区】



宅地嵩上げ事業の説明会（R5.8.28）
【球磨村中園地区】

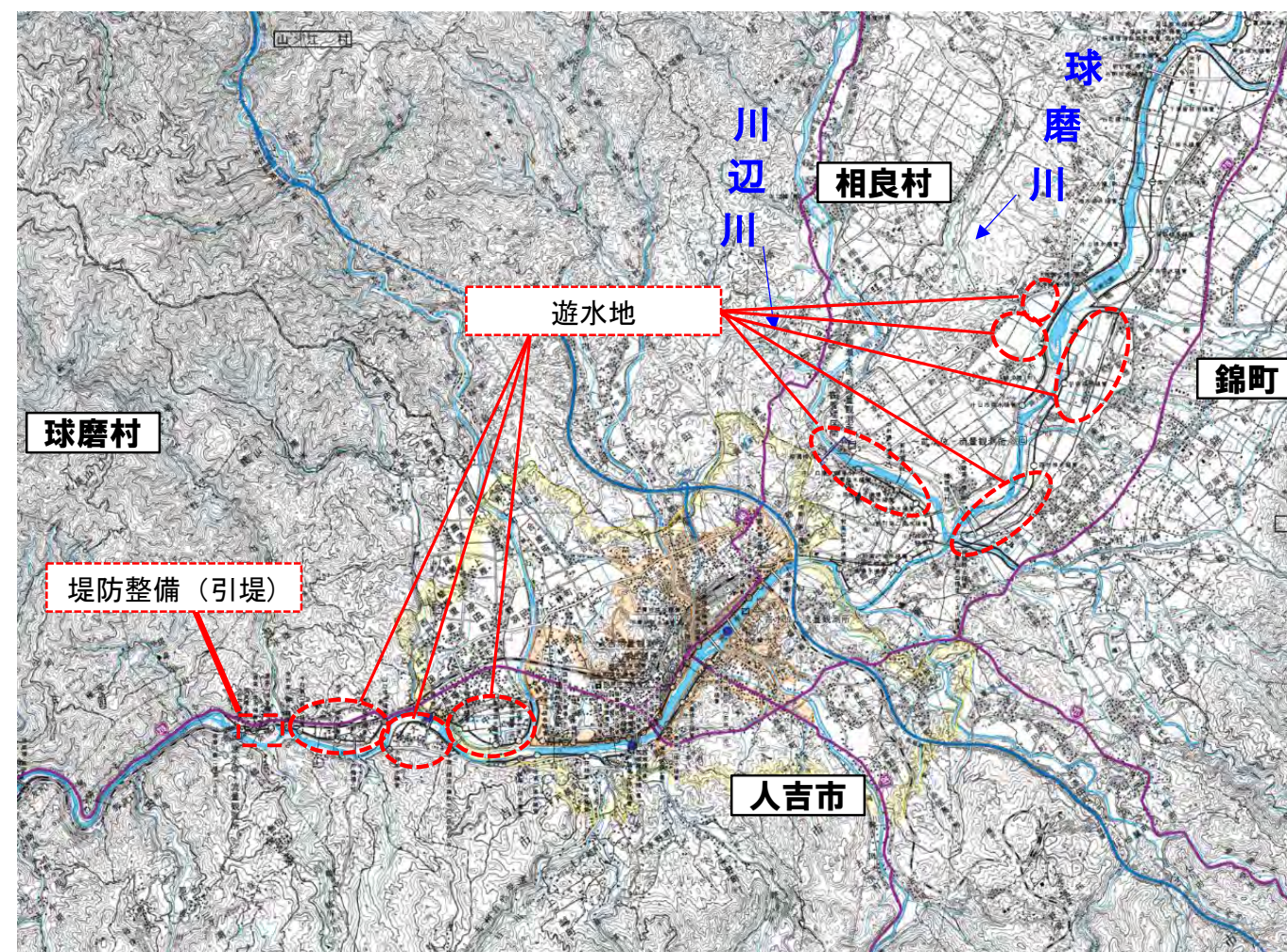


クスノキの移植工事（R5.10.18）
【球磨村神瀬地区】



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜引堤・遊水地＞

- 引堤、遊水地について、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会等を令和3年2月から順次開催（4市町村計 39回開催 ※10月末現在）。
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査（測量等）を行い、現在、用地調査・用地協議を実施中。
- 令和5年8月より、相良村柳瀬地区において、遊水地工事に着手。
- 令和5年9月より、球磨村渡地区において、引堤工事に着手。



遊水地工事の状況(R5.10.23)
【相良村柳瀬地区】



地元説明会の状況(R5.9.27)
【錦町一武地区】



引堤事業着工式の状況(R5.9.10)
【球磨村渡地区】



※図上の点線囲み範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

～用地協議中～

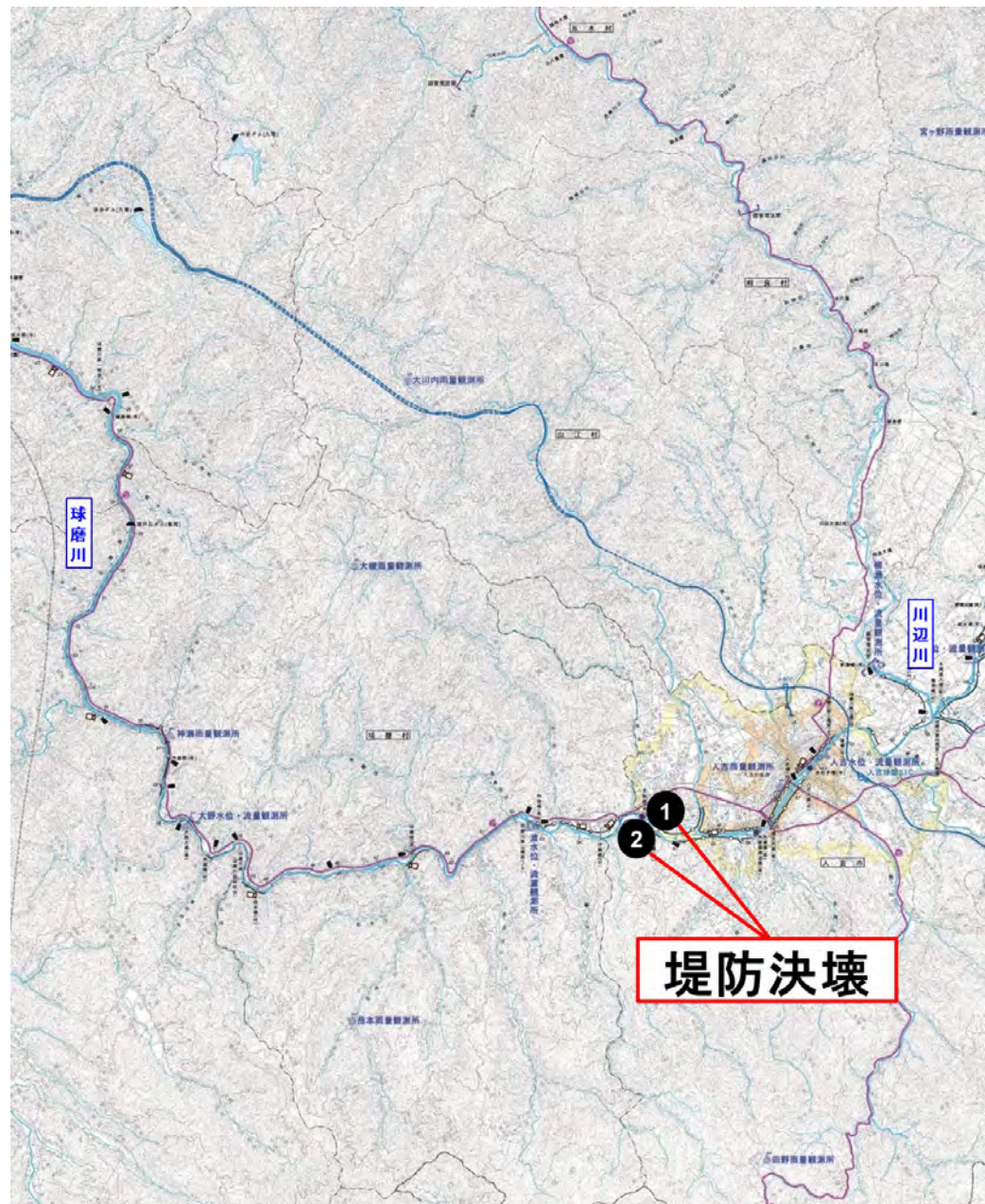
【相良村柳瀬地区（遊水地）】
【球磨村渡地区（遊水地、引堤）】
【錦町柳詰地区（遊水地）】

【人吉市大柿地区（遊水地）】
【人吉市中神地区（遊水地）】

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜災害復旧＞

○国管理区間では、堤防決壊2箇所の災害復旧工事を実施し、令和3年5月末までに本復旧を完了した。

【位置図】



①堤防決壊箇所(球磨川右岸56.4k付近)



本復旧実施中



本復旧状況



②堤防決壊箇所(球磨川左岸55.0k付近)



本復旧実施中



本復旧状況



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜災害復旧＞

○令和2年7月豪雨により被災した、護岸等の被災29箇所について、令和4年出水期までにすべて完了。

【位置図】



【被災状況】



【復旧完了】



【被災状況】



【復旧完了】



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜権限代行区間＞

○権限代行9河川における護岸等の被災箇所について、約140箇所の全ての復旧を完了し、令和5年5月末に熊本県へ引き渡しを完了。



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】

～防災活動の着実な実施・連携体制の構築～

■令和2年7月球磨川豪雨災害を踏まえた水害タイムラインの改善

○八代市、人吉市、球磨村で運用中の「球磨川水害タイムライン」について、令和2年7月球磨川豪雨時の災害対応状況を整理したうえで、①流域自治体および防災関係機関へのヒアリング、②住民アンケート調査 ③球磨川水害タイムラインふりかえり会議（AAR/IP 会議）により水害タイムラインの課題を抽出し改善を実施。

球磨川水害タイムラインの主な課題及び改善のポイント

主な課題（抜粋）	改善のポイント	改善内容	
		行動項目	内容
・危機感を持ったタイミングの差異が初動対応に大きく影響した ・体制を基準より前倒しすると避難所開設がスムーズだった ・もう一押しの助言があれば 対応が違った	流域で共有した情報の活用	流域で共有した情報に基づく体制の確立	■流域内の運用会議での共有情報を確認 ■激甚洪水になるかどうかの検討 ■激甚洪水になると予想された場合、今後の対応について自治体内で意思決定 ■激甚洪水になると予想された場合、ステージの移行を待たず早期の対応を実施
		流域で共有した情報の活用	■流域内の運用会議（Web）への参加 ■メーリングリストによる流域情報の共有
・危機感や情報が庁内の全職員に共有できていない自治体がみられた ・防災担当者が電話対応に追われた事例もみられた	自治体内部の意思決定プロセスと役割分担の見直し	自治体内部の情報共有	■流域内の運用会議の情報、災害対策本部の情報を自治体内へ周知、共有
		情報・現象の監視	■専門に監視する職員を配置 ■府県気象情報の監視 ■雨雲の動き、気象庁HPの危険度分布、河川水位等の監視
		警察や報道機関への情報提供	■警察・マスコミ等へ対応の準備【専門要員の配置】
		住民とのコミュニケーション	■住民からの通報・問合せ対応の準備【専門要員の配置】
・夜間・強雨時の避難行動を避けるため、早めの避難情報発信が必要であった ・洪水警報や避難勧告が出た時間帯では、半数近くが寝ていて伝わっていない可能性がある	夜間・就寝などの生活時間を考慮したタイムラインの運用	夜間避難への対応（避難時間帯が夜間となる可能性がある場合）	■高齢者等避難の早期発表の検討 ■早期に住民へ避難呼びかけを実施
・要配慮者の避難対応において、急激な水位変化により対応できない場合がみられた	地域コミュニティへの協力依頼	地域コミュニティへの協力依頼	■避難に関する情報を地域コミュニティへ提供（共有） ■高齢者、要支援者への注意喚起を依頼

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】

～防災活動の着実な実施・連携体制の構築～

■令和2年7月球磨川豪雨災害を踏まえた流域タイムラインの深化

「球磨川流域タイムライン運用会議」

○注意報・警報発表より早い段階において流域全体で危機感を共有し、各自治体や各機関が早めに防災行動へ着手することを目的として、令和3年5月19日より「球磨川流域タイムライン運用会議」を開催している。

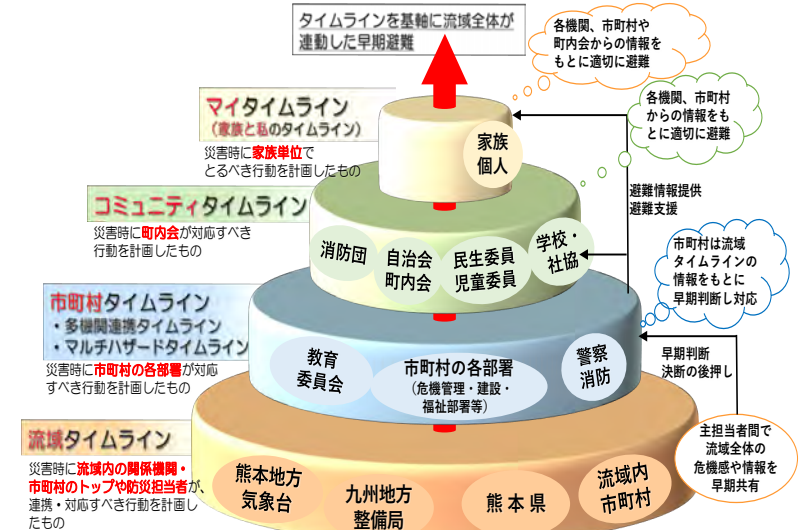
○会議では、熊本地方気象台や、タイムラインアドバイザー（東京大学 松尾一郎特任教授、元気象庁予報課長 村中 明アドバイザー等）より、大雨の予測や気象の見立てなど情報提供が行われ、自治体からは、「出水毎に気象台やアドバイザーによる降雨の見立てを受けて、早期の避難所開設の判断の後押しになった」との意見があった。



球磨川流域タイムライン運用会議の様子

「球磨川流域タイムラインの今後の展開」

○球磨川流域では、流域全体の連動した避難行動、各自治体の早期判断・決断の後押し等を目的に、球磨川本川、支川、土砂災害を対象とした「流域タイムライン」をR4出水期前に作成し、出水期に試行運用した。今後、適宜見直しを行う予定。



流域タイムラインの施設管理者と市町村の連動イメージ

「令和4年度 球磨川流域タイムライン 発足式及び第1回検討会、第2回検討会」

○令和4年5月16日に、球磨川流域に係る国、県及び流域市町村が一堂に会し、「令和4年度球磨川流域タイムライン発足式」「令和4年度 第1回球磨川流域タイムライン検討会」を開催し、6月3日には「令和4年度 第2回球磨川流域タイムライン検討会」をWeb会議にて開催し、令和4年度の「球磨川流域タイムライン」の取組を開始。

○今回の「発足式」「検討会」をきっかけに、球磨川流域において令和3年度より作成・運用している「球磨川流域タイムライン」について、球磨川本川・支川管理者等がさらに連携したタイムラインへと深化させ、梅雨期及び台風期の防災対応を図る



発足式開催状況 (R4.5.16)



第2回検討会開催状況 (R4.6.3)



第1回検討会開催状況 (R5.8.1)

＜参加機関＞

八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、九州地方整備局 水災害予報センター、八代河川国道事務所、川辺川ダム砂防事務所、熊本地方気象台、熊本県

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】

～平時からの住民等の防災意識醸成～

■NPO法人防災WEST・八代河川国道事務所 協働防災学習（令和5年5月29日）

- ARハザードマップや浸水体験装置を使い、体験型の防災学習を開催。
- 水害の怖さを理解し、令和2年7月豪雨と同じような水害が発生した場合でも、状況に応じた行動ができるようにする。
- 大雨・洪水時にはどう行動したらよいか、参加した中学生から保護者へ呼びかけることで、家族で避難行動について改めて考える場をつくり、早めの対策・準備につなげる。

5/29 防災学習実施計画

①体験実験 & 講義 (50分)

- ・浸水ドア実験
- ・流れる水の働き(模型実験)
- ・破堤CG

②大雨防災ワークショップ グループワーク・発表 (30分)

③マイタイムラインの作成 (45分)

④ハザードマップの確認 (20分)

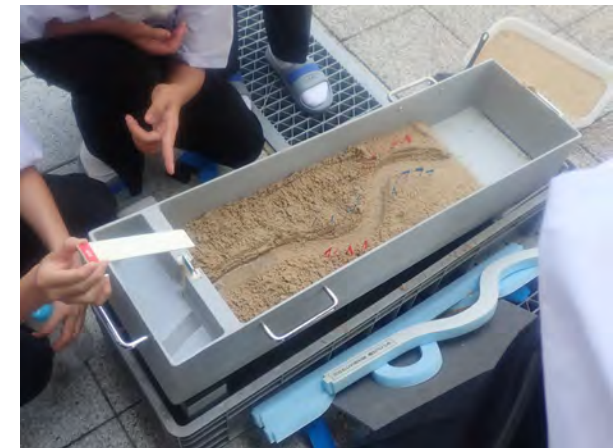
⑤準備物の確認 (5分)



①浸水ドア実験



①浸水ドア実験



①流水模型の実験



①流水模型の実験



②大雨防災ワークショップ
グループワーク



②グループワーク発表



④授業風景

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】

～平時からの住民等の防災意識醸成～

■令和3年度からの各教育機関での出前講座および学校教育への支援

- 令和2年7月豪雨の概要や、流域治水対策プロジェクトの説明を行い、流域全体での取り組みを学習してもらう。
- 「避難するために必要な情報」や避難時に潜む「用水路等の災害のリスク」を考え、避難時の自助・共助の意識を高める。
- 防災に関わる授業单元への支援を目的に、学校の先生方を対象とした教育資材の紹介・提供を行うことにより、防災や避難時の自助・共助について学校の授業で展開され正確な理解につなげる。

八代高校(1年生)への防災教育
(R4.6.17)



第八中学校(1年生)への防災教育
(R5.5.29)



八代市教育員会での防災研修
(R5.9.5)



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】

～水害リスクの周知～

■令和2年7月豪雨で浸水した深さを示す「洪水標識」の設置（国、人吉市、八代市、球磨村）

○令和2年7月豪雨時の浸水深を示す「洪水標識」を生活空間である「まちなか」に表示することで、日頃から水防災への意識を高め、次世代に伝える記録として残しつつ、洪水時に命を守るための住民の避難行動の目安とすることで、被害を最小限にとどめることを目的に設置。今後も、順次被災箇所を設置を予定。

令和3・4年度の設置箇所数

人吉市紺屋町（R3.3.23）1箇所
 人吉市九日町（R3.3.23）1箇所
 八代市坂本町松崎地区（R3.9.29）6箇所
 人吉市温泉町（R3.10.29）3箇所
 球磨村渡地区（R4.1.24）1箇所
 球磨村一勝地地区（R4.1.24）1箇所
 球磨村神瀬地区（R4.1.24）1箇所
 人吉市上青井町（R4.3.25）6箇所
 人吉市下青井町（R4.3.25）1箇所
 球磨村渡地区（R4.10.24）2箇所
 人吉市上青井町（R5.3.14）1箇所
 人吉市中青井町（R5.3.14）4箇所
 人吉市駒井田町（R5.3.14）8箇所

計 36箇所

洪水標識



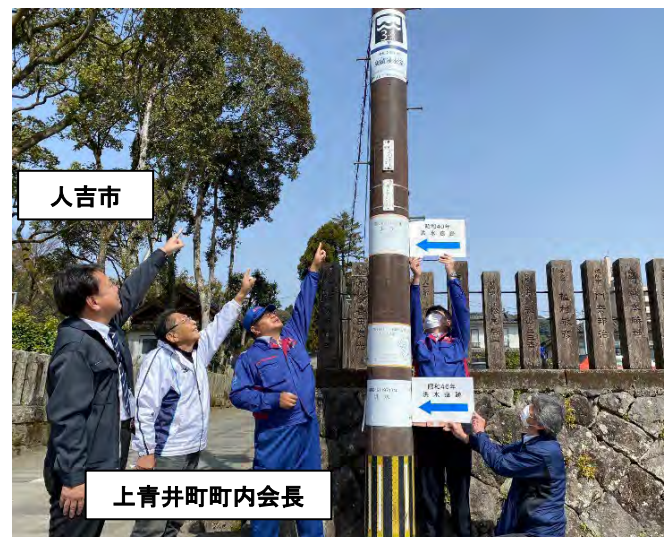
八代市坂本町松崎地区と協働で設置 (R3.9.29)



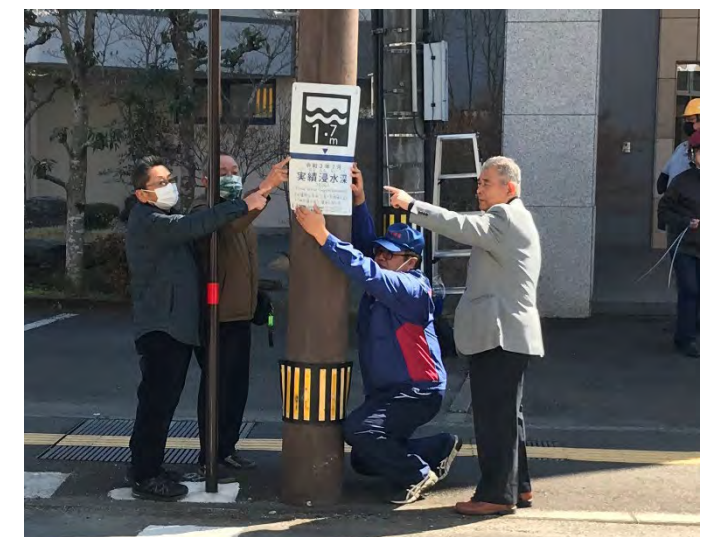
球磨村渡地区と協働で設置 (R4.1.24)



人吉市上青井町と協働で設置 (R4.3.25)



人吉市上青井、中青井、駒井田町と協働で設置 (R5.3.14)



球磨川水系緊急治水対策プロジェクト【円滑な事業進捗や住民理解促進に向けて】

～流域治水への理解促進や住民参加のための説明会～

令和2年7月豪雨以降、八代河川国道事務所では円滑な事業進捗や住民の方への事業の理解促進に向け、事業に関する住民説明会や先行工事・AR技術を活用した現地見学会を実施している。

また、球磨川水系緊急治水対策プロジェクトに関連して、各自治体が開催する事業説明会やまちづくり懇談会に積極的に参加することで、地域の意見をお聴きして事業に反映し、円滑な事業進捗につなげている。

更に幅広い年代に球磨川流域への理解、防災意識を醸成して頂くための取り組みとして、流域の学校を対象に河川環境教育・防災教育に取り組んでいる。

各説明会等実施状況（令和5年10月末時点）
 ■流域治水に関する説明会・懇談会（R3.2月～）

◇開催・参加回数 280回
 ◇のべ参加人数 6,077名

年度毎の開催状況

令和2年度：計17回（のべ777名）参加

令和3年度：計113回（のべ3675名）参加

令和4年度：計98回（のべ1132名）参加

令和5年度：計52回（のべ493名）参加（※令和5年10月末時点）

自治体毎内訳

八代市	137回	芦北町	21回	人吉市	26回
球磨村	68回	その他	28回		

■河川環境教育・防災教育（R2.7月～）

◇開催回数 25回

◇のべ参加人数 909名

年度毎の開催状況

令和2年度：計4回開催 のべ118名参加

令和3年度：計13回開催 のべ509名参加

令和4年度：計8回開催 のべ282名参加

令和5年度の開催状況

（防災教育）

令和5年5月29日 八代市立第八中学校 27名参加

令和5年9月5日 八代市教育委員会

令和5年10月15日 人吉市総合防災訓練

令和5年10月21日 あさぎり町総合防災訓練

（環境教育）

令和5年5月25日 水生生物調査(人吉東小学校) 79名参加

令和5年5月26日 水生生物調査(人吉東小学校) 67名参加

令和5年6月13日 水生生物調査(西瀬小学校) 33名参加

令和5年6月16日 水生生物調査(大畑小学校) 11名参加

令和5年6月16日 水生生物調査(八竜小学校) 15名参加

令和5年6月16日 水生生物調査(木上小学校) 25名参加

令和5年6月16日 水生生物調査(相良南小学校) 26名参加

【先行盛土・ARの様子（球磨村神瀬地区）】



※ARによる疑似体験

ARを用いた宅地かさ上げイメージ



（現況）



（イメージ）

【水生生物調査（環境教育）】



【防災教育の様子（防災事業）】

